

## ChatGPT 等生成 AI 活用検討プロジェクトチーム 第2回会議 議事要旨

【日 時】令和5年6月2日（金）14：00～15：00

【場 所】オンライン会議

【出席者】プロジェクトチームメンバー（若手職員22名）

### 1 今後の進め方（事務局）

<メンバーのChatGPT活用スキルの習熟>

- ・ ChatGPTの活用習熟し、活用策・ガイドラインを作っていくことがPTの役割
- ・ 研修会やアイデアソンを通じ、ChatGPTの特性や回答精度の上げ方を学習してもらう。
- ・ ChatGPTを使った施策検討を全庁で試行。PTからはChatGPTを活用した新規施策を提案

<今後の予定>

- ・ 研修会（6月5日）、アイデアソン（7月中旬）を開催
- ・ ChatGPTを活用したR6年度新規施策についてPTメンバーにアイデア出しを依頼

<ガイドライン検討の流れ>

- ・ 第1段階、既存の指針等を参考に仮案を作成し、実務の中で検証（今はこの段階）  
（会議後、事務局で作成したガイドラインのたたき台をPTメンバーに共有）
- ・ 第2段階、実証の中で発見された注意点や有効な活用策の意見を反映  
（会議後、事務局で作成した実証項目案をPTメンバーに共有し、アイデア出しを依頼）
- ・ 第3段階、ガイドラインの最終案についてPTで議論

### 2 意見交換

<メンバーから提出された実践レポートについて>

- ・ 第1回会議後、全メンバーがChatGPTを各所属の業務に活用し、レポートを作成。活用例として、文章編集、事業の代替案検討、アンケート項目作成、イベント名作成、法律解説、マスキング、パワポの骨子案作成、パワポ一括作成など様々な事例が挙げられた。
- ・ ChatGPTを活用するメリットとして、作業効率化、時間を選ばない相談相手、アイデア出し・創造性支援、自己成長とスキル向上に有効等が挙げられた。
- ・ ChatGPTを活用する際の課題として、指示が不明確だと出力も不明確、最新情報の検索に限界がある、プログラムのエラー解消が難しいことなどが挙げられた。

<ChatGPTを活用した経験や感想を共有>

- ・ 文章の要約や紹介文の作成に活用、単純作業が楽になった。
- ・ 資料作成が素早く行えるので非常に便利。
- ・ VBAを使って画像や動画の挿入も簡単にできる。研修の説明資料作成などに使える。
- ・ ChatGPTは嘘をつくと言われているが、無理なことは無理だと回答することもあった。
- ・ 研修プログラムの受講者を増やす策をChatGPTに聞くといいアイデアが出た。
- ・ 英文案の添削をしてくれる。
- ・ 回答が論理的で役に立つと思う反面、自分で考える力が低下するのではないかと心配に。
- ・ プログラム生成ではエラーが発生しがち。修正する前提で使うという考え方が重要。
- ・ 法律に関する解説は、現状のChatGPTでは難しい。正確性にやはり難がある。

（以上）